

感染拡大防止のための基本対策

令和3年9月17日改定 福島県新型コロナウイルス感染症対策本部

1 一人ひとり **基本的な感染対策**を徹底してください。



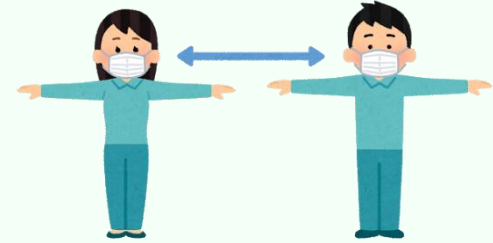
外出時や会話するときには、**マスク**を着用しましょう。
※不織布マスクを推奨



こまめな**手洗い**、**手指消毒**を徹底しましょう。



窓を開けるなどして、**こまめに換気**をしましょう。



人との間隔は、できるだけ**2m**取りましょう。

2 **症状がある場合は登校・出勤を控え、早めに受診**してください。



・ **かかりつけ医や「受診・相談センター (TEL0120-567-747)」に相談**してください。



事例

鼻水などの軽い症状があったが、他県への移動や感染者との接触に覚えがなかったため、コロナではないと思い込み職場に出勤し、職場内で感染が拡大した。

発熱・せきなど少しでも体調が悪い場合は、**すぐに医療機関に電話のうえ受診**してください。

飲食は、感染防止対策を徹底し、 少人数、短時間、いつも一緒にいる人と 行ってください。

控えてください！



体調不良で参加



大人数



長時間・深酒



大声

事例

参加した会食で陽性者が確認され、知らされた頃には自分も症状が出ており、職場や家族に感染を拡げていた。



飲食をきっかけに、職場や家族に感染が拡がった事例が多数発生しています。居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まります。

感染対策の徹底された飲食店を利用してください。

「ふくしま感染防止対策認定店」をおすすめします！

感染防止ステッカー配布済飲食店を調査し、適切な感染防止対策を確認した店舗に対し、認定ステッカーを交付しています。



認定ステッカー



事例

接待を伴う飲食店において、利用客から従業員、従業員から利用客、従業員同士の感染があり、さらにその家族に感染が拡がった。



変異株は感染力が強いため、飲食店での感染を防ぐには飲食店による徹底した対策とあわせて、利用客一人ひとりの対策が重要です。

4

都道府県をまたぐ不要不急の往来は極力控えてください。



- ・特に、感染拡大地域への旅行・帰省等は控えてください。



県内及び各都道府県の発生状況は、
県HPで確認できます。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/covid19-portal/>

福島県 新型コロナポータル

検索



事例

県外から福島県に帰省した後、友人との会食やバーベキューを行って感染が拡がり、さらにその家族に感染が拡大した。



感染拡大地域（緊急事態措置区域、まん延防止等重点措置区域）への旅行・帰省等を始め、都道府県をまたぐ不要不急の往来は極力控えてください。

5

接種の順番を迎えられた際には、 新型コロナワクチンの接種をお願いします。

- ・ ワクチンに関して正しい情報を知ってください。
- ・ ワクチン接種後も、「うつさない」「うつらない」行動をお願いします。



事業者の皆さまにお願いします

全ての事業者

・ 職場内の感染防止対策を徹底してください。

- 従業員等の手指消毒やマスク着用の徹底、職場内の消毒や換気など、職場内の感染防止対策を徹底してください。
- 従業員等の出勤時の健康チェックを徹底してください。
- 休憩中や休憩室・更衣室の利用時、電話時、昼食中などで居場所の切り替わりに注意してください。
- そのほか、業種別ガイドラインに基づき感染防止対策を徹底してください。

・ ローテーション勤務や時差出勤、テレワーク、オンライン会議等を活用し、人と人との接触機会の低減にご協力ください。

・ 出張や会議等を減らすなど、できる限り、外出機会の低減にご協力ください。

・ イベントは、要件（下記URL参照）に従った開催にご協力ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01010a/coronavirus-event.html>

事業所でのクラスターが相次いで発生しています！

事例

県内の関係事業所を参集した会議を開催した。会議後に行われた会食の参加者1名に感染が確認され、同席者全員が濃厚接触者となった。



オンライン会議の活用や、大人数・長時間の会食の自粛など、人と人との接触機会の低減を図ることが必要です。

施設管理者の皆さまにお願いします

大学・専門学校等

- ・ 感染リスクの高い行動を控えるよう、学生への注意喚起を徹底してください。

小・中・高等学校

- ・ 学習活動や部活動での感染防止対策を徹底してください。

医療機関、高齢者・障がい（児）者・児童施設

- ・ 施設のマニュアル及びチェックリストを確認し、感染防止対策を徹底してください。

子どもの感染が増加しています！

事例1

職員や子どもが、症状がありながら出勤・登校（登園）したことにより感染が拡がり、子どもから家庭内感染につながった。

事例2

学校に通う子どもが陽性となった。その後、家族の陽性が確認された。家族は子どもより前から症状があったが、受診していなかった。



少しでも体調が悪い場合は、出勤・登校（登園）を控え、早めに医療機関を受診してください。